

第7回蓮田市政策研究会議 会議録

開催日時	平成28年11月24日(木)	(開会)	午前9時00分
		(閉会)	午前12時00分
開催場所	蓮田市役所 301会議室		

議 事

1 開会

2 議事

二班に分かれ、提案事業の具体化を進めていく。

(A班) キャッチコピー

1) 資料検討

○提言書素案に各自の事業提案を加えたものを検討

○過去の提言書構成を検討

2) 意見交換

○他自治体における子育て事業の情報収集を試みたが、蓮田市と大きな差異はない。

○蓮田市の子育て事業は、必要なものが着実に、粛々と実施されている、行政サービスが備わっている。

○市民ニーズに応じ、ハイリスクでないサービスを実施している。

→こういったことをアピールできるキャッチコピーを作成したい。

「当たり前が蓮田にはある。」

○ソフト面である事業だけではなく、ハード面である基盤整備の充実もアピールするとよい。

→駅前周辺道路、通学路、区画整理など

○蓮田を外から見たときのイメージはどうか。

→近隣を含め、医療機関が充実しているイメージ

○市民意識調査を受けて、将来性、発展性が感じられるキャッチコピー、イメージ戦略の実施。

→蓮田は「のびしろ」がある。「ぐんぐんはすだ」、伸びていくイメージ。

○市民意識調査から駅前商業施設、駐車場、郊外型商業施設等の需要。

○今あるものをアピールする手法に合わせて、これからのもの(新しいもの)のアピールも提言書に併記してもよいのではないか。他にはない、蓮田の知名度アップに使える。

→東北の玄関(東北の名産品の販売、クローズアップ)

地下鉄7号線延伸(蓮田が終着駅、交通環境の整備)

3) 検討結果

○提言書素案を箇条書きから文書に起こし、内容の調整を図る。

(B班) 蓮田ブランド認定事業

1) 資料検討

- 素案(2)についての説明・改善点を検討する。
- 全体的に文章が多く、図等を増やし視覚的にわかりやすくした方が良い。
- 蓮田ブランドの認定のモデルケースは1つに絞ったほうが良い。内容に統一性をもたせるほうを採用。もう一つのモデルケースは箇条書き程度残しておけばよい。
- 認定事業の全体の流れのイメージを入れた方が良い。
- PRも事業の一環に取り扱うよう記述。

2) その他

- キャッチコピー班とのすり合わせ。
- 他の事業計画などとの相互性に注意。
- イメージ図の検討

3 その他

連絡事項

- 宇都宮市視察について。→12月20日(火)
- 宇都宮市担当者への質問(※切12月1日)

4 閉会